

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	(毎月決算型) 無期限(2012年2月29日設定) (年2回決算型) 無期限(2018年2月28日設定)
運用方針	投資信託証券を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みません。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 毎月18日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 毎年2月18日および8月18日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ インドネシア債券オープン (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第14作成期

第77期(決算日2018年9月18日) 第80期(決算日2018年12月18日)
第78期(決算日2018年10月18日) 第81期(決算日2019年1月18日)
第79期(決算日2018年11月19日) 第82期(決算日2019年2月18日)

(年2回決算型)

第2期(決算日2019年2月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配額)	税 込		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
			分 配 金	期 中 騰 落 率		
第10 作成期	53期 (2016年9月20日)	円 5,438	円 60	% 0.7	% 98.4	百万円 38,134
	54期 (2016年10月18日)	5,539	60	3.0	98.9	38,427
	55期 (2016年11月18日)	5,404	60	△1.4	98.5	37,330
	56期 (2016年12月19日)	5,766	60	7.8	98.1	38,215
	57期 (2017年1月18日)	5,569	60	△2.4	97.9	35,069
	58期 (2017年2月20日)	5,546	60	0.7	97.2	33,541
第11 作成期	59期 (2017年3月21日)	5,574	60	1.6	98.2	32,957
	60期 (2017年4月18日)	5,404	60	△2.0	97.8	32,251
	61期 (2017年5月18日)	5,485	60	2.6	98.0	32,686
	62期 (2017年6月19日)	5,477	60	0.9	95.7	33,514
	63期 (2017年7月18日)	5,480	60	1.2	98.2	34,317
	64期 (2017年8月18日)	5,361	60	△1.1	98.2	34,586
第12 作成期	65期 (2017年9月19日)	5,517	60	4.0	98.6	35,571
	66期 (2017年10月18日)	5,386	60	△1.3	98.4	33,908
	67期 (2017年11月20日)	5,320	60	△0.1	98.1	33,395
	68期 (2017年12月18日)	5,317	60	1.1	97.9	32,628
	69期 (2018年1月18日)	5,376	60	2.2	98.7	32,244
	70期 (2018年2月19日)	4,993	30	△6.6	96.6	29,545
第13 作成期	71期 (2018年3月19日)	4,845	30	△2.4	98.6	28,273
	72期 (2018年4月18日)	4,906	30	1.9	98.6	28,421
	73期 (2018年5月18日)	4,782	30	△1.9	98.9	27,516
	74期 (2018年6月18日)	4,734	30	△0.4	97.0	26,491
	75期 (2018年7月18日)	4,645	30	△1.2	98.2	25,852
	76期 (2018年8月20日)	4,405	30	△4.5	98.1	24,296
第14 作成期	77期 (2018年9月18日)	4,232	30	△3.2	98.3	23,064
	78期 (2018年10月18日)	4,114	30	△2.1	99.2	22,193
	79期 (2018年11月19日)	4,411	30	7.9	98.5	23,457
	80期 (2018年12月18日)	4,401	30	0.5	97.8	23,004
	81期 (2019年1月18日)	4,358	30	△0.3	98.9	22,698
	82期 (2019年2月18日)	4,465	30	3.1	98.1	23,075

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投資信託証券 組入比率
第77期	(期 首)	円		%	%
	2018年8月20日	4,405		—	98.1
	8月末	4,429		0.5	98.4
	(期 末)				
	2018年9月18日	4,262		△3.2	98.3
第78期	(期 首)				
	2018年9月18日	4,232		—	98.3
	9月末	4,348		2.7	98.5
	(期 末)				
	2018年10月18日	4,144		△2.1	99.2
第79期	(期 首)				
	2018年10月18日	4,114		—	99.2
	10月末	4,144		0.7	98.7
	(期 末)				
	2018年11月19日	4,441		7.9	98.5
第80期	(期 首)				
	2018年11月19日	4,411		—	98.5
	11月末	4,545		3.0	98.6
	(期 末)				
	2018年12月18日	4,431		0.5	97.8
第81期	(期 首)				
	2018年12月18日	4,401		—	97.8
	12月末	4,366		△0.8	97.8
	(期 末)				
	2019年1月18日	4,388		△0.3	98.9
第82期	(期 首)				
	2019年1月18日	4,358		—	98.9
	1月末	4,405		1.1	98.3
	(期 末)				
	2019年2月18日	4,495		3.1	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資信託 証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日) 2018年2月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 12
1 期 (2018年8月20日)	9,305	0	△7.0	98.1	34
2 期 (2019年2月18日)	9,816	0	5.5	98.2	57

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託証券 組 入 比 率
(期 首) 2018年8月20日	円 9,305	% —	% 98.1
8 月 末	9,354	0.5	98.1
9 月 末	9,248	△0.6	97.9
10 月 末	8,885	△4.5	97.3
11 月 末	9,784	5.1	99.0
12 月 末	9,460	1.7	98.8
2019年1月末	9,609	3.3	98.7
(期 末) 2019年2月18日	9,816	5.5	98.2

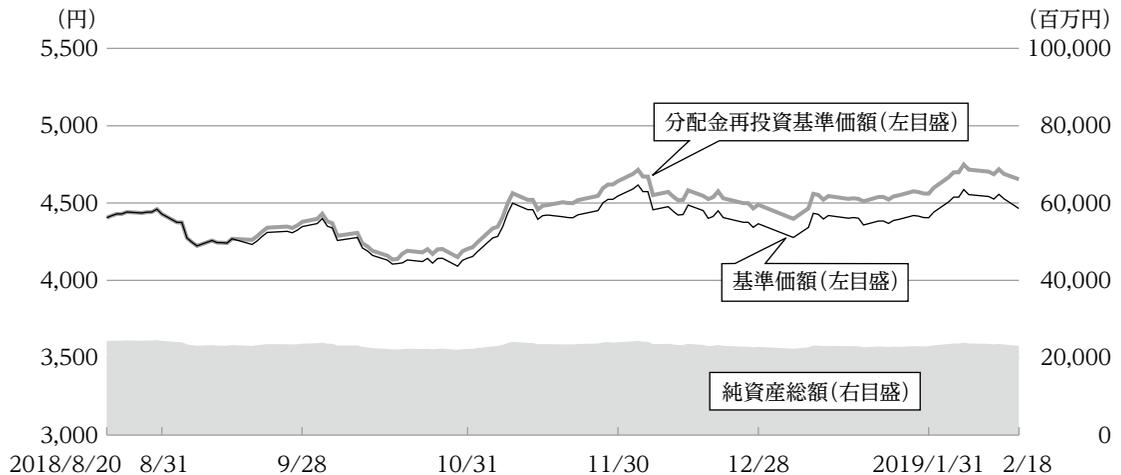
(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2018年8月21日～2019年2月18日）



第77期首	4,405円
第82期末	4,465円（既払分配金180円）
騰落率	5.7%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2018年8月21日～2019年2月18日）



第2期首	9,305円
第2期末	9,816円（既払分配金0円）
騰落率	5.5%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

投資環境について

インドネシア債券市場

当（作成）期、インドネシア債券は下落（利回りは上昇）しました。

当（作成）期初から2018年10月中旬にかけては、米国の利上げ観測の高まりやアルゼンチンペソ、トルコリラなど新興国通貨の急落を受けて、インドネシアルピアも大幅に下落し、10月上旬には心理的な節目である1米ドル=15,000ルピアの大台を超えるルピア安水準となりました。通貨の下落に伴い債券も下落しました。しかし、10月を境に原油安となったことから、11月に入りルピアは急速に値を戻し、債券も上昇（利回りは低下）しました。そのような中、インドネシア中央銀行（B I）は通貨の安定を目指して、2018年において6度目となる政策金利の引上げを実施し0.25%の追加利上げを行いました。その後は当（作成）期末まで、インドネシア債券市場は10年国債利回りで8%を挟み一進一退の動きとなりました。

為替市場

インドネシアルピアは対円、対米ドルともに上昇しました。

当（作成）期初から2018年10月中旬にかけては、米金利の上昇やアルゼンチンペソ、トルコリラなど新興国通貨の下落、原油価格の上昇などを受けて、ルピアは対円、対米ドルともに下落しました。しかし、その後は原油価格が下落に転じたことや、米中貿易摩擦の緩和期待、米国金融政策のハト派転換などを受けて、ルピアは回復傾向となりました。

国内債券市場

2018年8月下旬以降、米国債利回りが上昇を続ける中で日本国債利回りは緩やかに上昇（価格は下落）しました。10月下旬から当（作成）期末にかけては、米国株の下落や欧州政治不安などを背景にリスク回避姿勢が強まったほか、パウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長が利上げペースの鈍化を示唆したことで日本国債利回りは低下傾向となりました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年2回決算型）

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド（以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主として、インドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リター

ンの最大化を目指して運用を行いました。当（作成）期は通貨ルピアが対円で上昇したことがプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）
（毎月決算型）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2018年8月21日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月18日	2018年10月19日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月18日	2018年12月19日 ～2019年1月18日	2019年1月19日 ～2019年2月18日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	0.704	0.724	0.676	0.677	0.684	0.667
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	398	400	406	408	409	414

（年2回決算型）

項目	第2期
	2018年8月21日 ～2019年2月18日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	789

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年2回決算型）

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドへの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

インドネシアの2018年の経常赤字は予想以上に拡大しましたが、引き続き管理可能な水準であり、2019年には改善するとみています。輸出の伸びは依然として弱い可能性があります。輸入はB Iの引締め政策を背景に緩やかながらも縮小するとみています。インフレ率については、補助金付き燃料価格の調整も予定されておらず、また国内景気も落ち着いていることから、低い水準が継続すると予想しています。米国の金融政策のハト派転換など、インドネシア市場を取り巻く環境は改善傾向にあります。米中貿易摩擦、英国のEU離脱、中国の景気減速などの不確実性の上昇により、下押し圧力がかかることも予想され引き続き注意が必要です。

米国金利が低下傾向であることや、インフレ率が低位で推移していることから、今後もルピアが安定的に推移するならば、さらなる利下げの可能性も考えています。

短期的にボラティリティが高まる状況も予想される中、債券価格が過度に下落した局面は魅力的な利回りでの投資機会になると考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

1万口当たりの費用明細

（2018年8月21日～2019年2月18日）

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.609%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、4,372円です。
（投信会社）	（ 9）	（0.214）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（17）	（0.382）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.012）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	（0.004）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 0）	（0.003）	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他）	（ 0）	（0.000）	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	27	0.615	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

投資信託証券

決 算 期			第 77 期 ～ 第 82 期			
			買 付		売 付	
外国	邦 貨 建 ケイマン諸島籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千円	千口	千円
			2,109,115	1,253,217	4,553,171	2,700,000

（注1）金額は受渡し代金です。

（注2）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2019年2月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	前作成期末 (第76期末)	当 作 成 期 末 (第 82 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	39,643,393	37,199,337	22,617,197	98.0
イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型I (適格機関投資家向け)	21,843	21,843	23,779	0.1
合 計	39,665,237	37,221,180	22,640,976	98.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注2）口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

（2019年2月18日現在）

項 目	当 作 成 期 末 （第 82 期 末）	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	22,640,976	96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	747,225	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	23,388,201	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2018年9月18日)	(2018年10月18日)	(2018年11月19日)	(2018年12月18日)	(2019年1月18日)	(2019年2月18日)現在
	第 77 期 末	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末
(A) 資 産	23,316,005,799円	22,420,552,583円	23,755,593,985円	23,368,863,505円	22,946,639,965円	23,388,201,747円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	640,581,495	393,947,423	499,102,565	577,719,543	498,338,315	597,225,659
投資信託受益証券(評価額)	22,675,424,304	22,026,605,160	23,106,491,420	22,491,143,962	22,448,301,650	22,640,976,088
未 収 入 金	-	-	150,000,000	300,000,000	-	150,000,000
(B) 負 債	251,241,606	227,377,991	298,362,205	363,969,702	247,825,885	312,925,378
未 払 収 益 分 配 金	163,520,055	161,838,009	159,544,481	156,822,533	156,254,618	155,031,000
未 払 解 約 金	64,345,318	41,810,014	113,583,723	183,182,321	66,594,490	132,335,995
未 払 信 託 報 酬	23,138,296	23,245,616	24,491,798	22,986,355	23,746,177	24,074,873
未 払 利 息	1,877	1,154	1,463	1,693	1,460	1,750
そ の 他 未 払 費 用	236,060	483,198	740,740	976,800	1,229,140	1,481,760
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	23,064,764,193	22,193,174,592	23,457,231,780	23,004,893,803	22,698,814,080	23,075,276,369
元 本	54,506,685,075	53,946,003,138	53,181,493,955	52,274,177,718	52,084,872,926	51,677,000,287
次 期 繰 越 損 益 金	△31,441,920,882	△31,752,828,546	△29,724,262,175	△29,269,283,915	△29,386,058,846	△28,601,723,918
(D) 受 益 権 総 口 数	54,506,685,075口	53,946,003,138口	53,181,493,955口	52,274,177,718口	52,084,872,926口	51,677,000,287口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	4.232円	4.114円	4.411円	4.401円	4.358円	4.465円

（注1）元本の状況

当ファンドの第77期首元本額は55,154,437,931円、第77～82期中追加設定元本額は2,386,453,145円、第77～82期中一部解約元本額は5,863,890,789円です。

（注2）1口当たり純資産額は、第77期0.4232円、第78期0.4114円、第79期0.4411円、第80期0.4401円、第81期0.4358円、第82期0.4465円です。

（注3）上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）

損益の状況

第77期（自2018年8月21日至2018年9月18日）、第78期（自2018年9月19日至2018年10月18日）
 第79期（自2018年10月19日至2018年11月19日）、第80期（自2018年11月20日至2018年12月18日）
 第81期（自2018年12月19日至2019年1月18日）、第82期（自2019年1月19日至2019年2月18日）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(A) 配当等収益	197,718,027円	195,555,563円	192,967,327円	186,950,957円	186,856,892円	187,185,836円
受取配当金	197,753,197	195,587,549	192,993,591	186,986,129	186,905,897	187,228,959
支払利息	△ 35,170	△ 31,986	△ 26,264	△ 35,172	△ 49,005	△ 43,123
(B) 有価証券売買損益	△ 955,855,279	△ 648,737,368	1,567,127,950	△ 61,558,566	△ 229,808,629	542,859,909
売買益	9,037,265	2,433,054	1,585,314,246	7,242,832	622,224	554,475,375
売買損	△ 964,892,544	△ 651,170,422	△ 18,186,296	△ 68,801,398	△ 230,430,853	△ 11,615,466
(C) 信託報酬等	△ 23,374,356	△ 23,494,223	△ 24,753,325	△ 23,222,415	△ 23,998,517	△ 24,327,493
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 781,511,608	△ 476,676,028	1,735,341,952	102,169,976	△ 66,950,254	705,718,252
(E) 前期繰越損益金	△ 6,862,515,985	△ 7,647,246,165	△ 8,101,319,427	△ 6,377,092,379	△ 6,387,390,888	△ 6,480,993,284
(F) 追加信託差損益金	△ 23,634,373,234	△ 23,467,068,344	△ 23,198,740,219	△ 22,837,538,979	△ 22,775,463,086	△ 22,671,417,886
(配当等相当額)	(1,344,047,609)	(1,338,756,297)	(1,326,447,044)	(1,308,662,758)	(1,306,575,956)	(1,306,093,310)
(売買損益相当額)	(△ 24,978,420,843)	(△ 24,805,824,641)	(△ 24,525,187,263)	(△ 24,146,201,737)	(△ 24,082,039,042)	(△ 23,977,511,196)
(G) 計(D+E+F)	△ 31,278,400,827	△ 31,590,990,537	△ 29,564,717,694	△ 29,112,461,382	△ 29,229,804,228	△ 28,446,692,918
(H) 収益分配金	△ 163,520,055	△ 161,838,009	△ 159,544,481	△ 156,822,533	△ 156,254,618	△ 155,031,000
次期繰越損益金(G+H)	△ 31,441,920,882	△ 31,752,828,546	△ 29,724,262,175	△ 29,269,283,915	△ 29,386,058,846	△ 28,601,723,918
追加信託差損益金	△ 23,634,373,234	△ 23,467,068,344	△ 23,198,740,219	△ 22,837,538,979	△ 22,775,463,086	△ 22,671,417,886
(配当等相当額)	(1,344,047,609)	(1,338,756,297)	(1,326,447,044)	(1,308,662,758)	(1,306,575,956)	(1,306,093,310)
(売買損益相当額)	(△ 24,978,420,843)	(△ 24,805,824,641)	(△ 24,525,187,263)	(△ 24,146,201,737)	(△ 24,082,039,042)	(△ 23,977,511,196)
分配準備積立金	827,557,289	821,856,427	835,237,002	824,324,828	825,706,577	836,325,288
繰越損益金	△ 8,635,104,937	△ 9,107,616,629	△ 7,360,758,958	△ 7,256,069,764	△ 7,436,302,337	△ 6,766,631,320

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (注4) 分配金の計算過程

第77期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(174,343,671円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,344,047,609円)および分配準備積立金(816,733,673円)より、分配対象収益は2,335,124,953円(10,000口当たり428円)であり、うち163,520,055円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第78期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(172,061,340円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,338,756,297円)および分配準備積立金(811,633,096円)より、分配対象収益は2,322,450,733円(10,000口当たり430円)であり、うち161,838,009円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第79期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(190,254,363円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,326,447,044円)および分配準備積立金(804,527,120円)より、分配対象収益は2,321,228,527円(10,000口当たり436円)であり、うち159,544,481円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第80期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(163,728,542円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,308,662,758円)および分配準備積立金(817,418,819円)より、分配対象収益は2,289,810,119円(10,000口当たり438円)であり、うち156,822,533円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第81期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(162,858,375円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,306,575,956円)および分配準備積立金(819,102,820円)より、分配対象収益は2,288,537,151円(10,000口当たり439円)であり、うち156,254,618円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第82期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(180,948,267円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,306,093,310円)および分配準備積立金(810,408,021円)より、分配対象収益は2,297,449,598円(10,000口当たり444円)であり、うち155,031,000円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

- ※法人の受益者に対する課税は異なります。
- ※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

（2018年8月21日～2019年2月18日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	57円	0.609%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,390円です。
（投信会社）	(20)	(0.214)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.039	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(4)	(0.039)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	61	0.648	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	邦 貨 建 ケイマン諸島籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	口	千円	口	千円
			38,186,210	23,301	2,558,360	1,600

（注1）金額は受渡し代金です。

（注2）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 12	当初設定時における取得

（注）単位未満は切捨てです。

組入資産の明細

（2019年2月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首（前期末）	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	口 56,335,560	口 91,963,410	千円 55,913	% 98.1
イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）	57,070	57,070	62	0.1
合 計	56,392,630	92,020,480	55,975	98.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注2）口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2019年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	55,975	97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,329	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	57,304	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年2月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	57,304,350円
コール・ローン等	1,328,471
投資信託受益証券(評価額)	55,975,879
(B) 負 債	295,520
未 払 解 約 金	10,249
未 払 信 託 報 酬	267,990
未 払 利 息	3
そ の 他 未 払 費 用	17,278
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	57,008,830
元 本	58,078,834
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,070,004
(D) 受 益 権 総 口 数	58,078,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,816円

(注1) 元本の状況

期首元本額	37,139,058円
期中追加設定元本額	23,047,627円
期中一部解約元本額	2,107,851円

(注2) 1口当たり純資産額は0.9816円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2018年8月21日 至2019年2月18日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,151,357円
受 取 配 当 金	2,151,833
支 払 利 息	△ 476
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	325,217
売 買 益	367,601
売 買 損	△ 42,384
(C) 信 託 報 酬 等	△ 285,277
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	2,191,297
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,614,324
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,646,977
(配 当 等 相 当 額)	(1,866,714)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,513,691)
(G) 計 (D+E+F)	△ 1,070,004
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 1,070,004
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,646,977
(配 当 等 相 当 額)	(1,866,714)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,513,691)
分 配 準 備 積 立 金	2,720,797
繰 越 損 益 金	△ 2,143,824

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,903,537円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（1,866,714円）および分配準備積立金（817,260円）より、分配対象収益は4,587,511円（10,000口当たり789円）ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	
形態	ケイマン籍外国投資信託／オープン・エンド型	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保とトータル・リターンを最大化を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドネシアの国債、政府保証債、政府機関債、準国債、地方債および社債	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	管理会社	ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー・リミテッド
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体の発行する公社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。ただし、インドネシアルピア建てで発行されるインドネシアの国債、政府保証債、政府機関債および地方債、ならびに国際機関債についてはこの限りではありません。 ・信託財産の純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 ・デリバティブ取引（NDF取引を含みます。）の利用は、ヘッジ目的に限定しません。 	
収益分配	原則として毎月分配を行う方針です。	
申込手数料	ありません。	
運用報酬および管理費用等	年率0.45%（上限）	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料等、その他の費用（法務および監査費用を含みます。）がかかります。	
設定日	2012年2月29日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.216%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※ ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年2回決算型）」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2017年12月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

包括利益計算書

2017年12月31日に終了した事業年度

	日本円
投資収益	
受取利息	2,632,828,645
損益を通じて公正価値で測定する金融商品における実現純損益	(264,202,283)
外国為替取引に係る実現純損益	9,686,333
外国為替先渡取引に係る実現純損益	(7,548)
損益を通じて公正価値で測定する金融商品における未実現評価損益の変動額	1,681,943,893
外国為替取引に係る未実現評価損益の変動額	(44,821,812)
外国為替先渡取引に係る未実現評価損益の変動額	(2,459,811)
投資収益合計	4,012,967,417
費用	
運用報酬	117,970,853
管理事務・保管・受託費用	31,660,239
監査費用	4,150,422
費用合計	153,781,514
税引前利益（損失）	3,859,185,903
源泉税	(956,683,562)
当期純利益（損失）	2,902,502,341

投資有価証券明細表（未監査）（2017年12月31日現在）

銘柄	利率 (%)	償還日	額面	評価額 (日本円)	取得金額 (日本円)	対純資産 比率 (%)
損益を通じて公正価値で測定 する金融資産						
社債及び国債						
Indosat Tbk PT	7.45	11/9/2020	10,000,000,000	84,670,050	84,400,074	0.27
Indosat Tbk PT	10.40	6/4/2025	32,000,000,000	305,155,918	301,316,695	0.96
Indosat Tbk PT	8.65	11/9/2027	15,000,000,000	129,001,928	126,600,111	0.40
Sarana Multi Infrastruktur Persero PT	7.40	11/15/2020	34,000,000,000	286,549,791	285,205,743	0.90
Indonesia Treasury Bond	10.25	7/15/2027	38,000,000,000	411,032,559	396,119,482	1.29
Indonesia Treasury Bond	9.50	7/15/2023	62,035,000,000	617,564,350	590,323,901	1.94
Indonesia Treasury Bond	9.75	5/15/2037	31,700,000,000	335,046,426	330,069,305	1.05
Indonesia Treasury Bond	10.50	8/15/2030	54,624,000,000	602,508,883	580,016,283	1.89
Indonesia Treasury Bond	8.25	7/15/2021	228,000,000,000	2,104,355,987	2,028,608,065	6.59
Indonesia Treasury Bond	6.38	4/15/2042	43,800,000,000	328,378,210	329,383,877	1.03
Indonesia Treasury Bond	6.13	5/15/2028	73,500,000,000	598,153,006	586,073,205	1.87
Indonesia Treasury Bond	5.63	5/15/2023	89,950,000,000	735,349,440	745,148,310	2.30
Indonesia Treasury Bond	6.63	5/15/2033	109,050,000,000	889,137,820	872,663,065	2.79
Indonesia Treasury Bond	8.38	3/15/2034	234,900,000,000	2,219,480,704	2,188,260,900	6.96
Indonesia Treasury Bond	8.38	3/15/2024	313,678,000,000	2,952,885,369	2,954,781,867	9.26
Indonesia Treasury Bond	9.00	3/15/2029	220,485,000,000	2,198,180,292	2,121,577,455	6.89
Indonesia Treasury Bond	8.75	2/15/2044	81,479,000,000	797,509,204	752,428,563	2.50
Indonesia Treasury Bond	7.88	4/15/2019	47,433,000,000	413,081,451	436,748,130	1.29
Indonesia Treasury Bond	8.25	5/15/2036	225,000,000,000	2,098,337,576	1,928,633,094	6.58
Indonesia Treasury Bond	8.75	5/15/2031	152,000,000,000	1,471,494,999	1,333,607,450	4.61
Indonesia Treasury Bond	7.50	8/15/2032	83,620,000,000	751,451,137	705,309,913	2.36
Indonesia Treasury Bond	9.50	7/15/2031	60,400,000,000	626,864,113	604,831,241	1.96
Indonesia Treasury Bond	8.38	9/15/2026	283,500,000,000	2,707,871,727	2,463,534,419	8.49
Indonesia Treasury Bond	9.50	5/15/2041	48,786,000,000	504,808,038	479,939,783	1.58
Indonesia Treasury Bond	8.25	6/15/2032	101,750,000,000	932,053,645	934,330,006	2.92
Indonesia Treasury Bond	7.00	5/15/2027	242,895,000,000	2,137,116,120	2,051,316,568	6.70
Indonesia Treasury Bond	7.00	5/15/2022	179,072,000,000	1,560,848,742	1,564,302,176	4.89
Indonesia Treasury Bond	11.00	11/15/2020	45,950,000,000	438,893,220	456,664,651	1.38
Indonesia Treasury Bond	12.00	9/15/2026	6,650,000,000	77,134,694	76,121,689	0.24
Indonesia Treasury Bond	12.90	6/15/2022	26,950,000,000	284,163,382	286,188,648	0.89
Indonesia Treasury Bond	11.00	9/15/2025	60,750,000,000	660,474,187	636,406,146	2.07
Indonesia Treasury Bond	12.80	6/15/2021	39,700,000,000	401,906,118	416,422,738	1.26
Indonesia Treasury Bond	11.75	8/15/2023	12,000,000,000	130,171,519	122,754,702	0.41
Indonesia Treasury Bond	10.25	7/15/2022	37,388,000,000	376,132,604	371,859,226	1.18
Indonesia Treasury Bond	10.00	2/15/2028	51,650,000,000	549,340,021	528,514,139	1.72

銘柄	利率 (%)	償還日	額面	評価額 (日本円)	取得金額 (日本円)	対純資 産比率 (%)
Indonesia Treasury Bond	10.50	7/15/2038	24,750,000,000	283,176,690	269,856,591	0.89
Indonesia Treasury Bond	10.00	9/15/2024	43,000,000,000	438,297,324	430,681,588	1.37
外国為替先渡取引に係る未実 現評価益				295,651	—	0.00
損益を通じて公正価値で測定 する金融資産合計				32,438,872,895	31,370,999,799	101.68
売買目的保有金融負債						
外国為替先渡取引に係る未実 現評価損				(279,073)	—	(0.00)
損益を通じて公正価値で測定 する金融負債合計				(279,073)	—	(0.00)
ポートフォリオ合計				32,438,593,822	31,370,999,799	101.68

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）／（年2回決算型）」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2017/2/28 ～2018/2/26		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.215%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,879円です。
（投信会社）	(15)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	24	0.228	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2018年2月26日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
国債証券	千円 648,000	千円 704,487	% 97.8	% —	% 41.2	% 43.9	% 12.6		
合計	648,000	704,487	97.8	—	41.2	43.9	12.6		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第112回 利付国債（5年）	%	千円	千円	
	第298回 利付国債（10年）	0.4	40,000	40,068	2018/06/20
	第300回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,118	2018/12/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,139	2019/03/20
	第305回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,536	2019/06/20
	第306回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,182	2019/12/20
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,634	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,728	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,200	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,100	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,886	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	42,395	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	53,709	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	43,397	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,197	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,068	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	50,420	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,052	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	43,959	2025/06/20
第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	64,850	2026/03/20	
第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	59,842	2026/09/20	
合 計			648,000	704,487	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。